

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立西小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校教育目標に対する具体的取り組みや子供の表れを把握し、学校の課題を見つけ解決策について熟議していく。
- ボランティア人材の集め方や組織の作り方について考え、子供たちや教員を支援する「応援団的組織」の仕組みを整えていく

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校運営の基本方針については、学校目標の具現に向かうために必要なことを共有し合い、理解した上で話し合うことができた。しかし、短時間の協議会では十分に意見や思いを出し合い、深めることはできなかったことから「熟議」に至ってはいないという課題も残る。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校と地域のそれぞれが役割をもち、相互に連携していく必要性を認識し、学校支援活動の在り方について熟議することができた。学校を支えるためのボランティア活動や人材活用が少しずつ表面化でき、教育活動の充実や子供が自己肯定感を高めることに繋がっている。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

地域に向けた発信が少なく、西小に子供や孫が通学していない家庭には伝わっていないと思われる。コミュニティ・スクールだよりが発行されているが、どの程度の範囲で関心がもたれているかは不透明である。委員の人脈や自治会の回覧板を利用した発信はできたが、来年度も引き続き効果的な発信方法について検討していく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校評価アンケート結果の経年変化や児童・保護者・職員3者の評価に乖離が見られる部分の分析を進めることを通して、学校が抱える課題をより一層明確にし、改善策についての熟議を深めていく。
- 一部の方の厚意に頼ることなく、無理せず継続できる「応援団的組織」を構築していく。